



平成26年度 いばらき輝く教師塾（第5日）

平成26年11月29日
茨城県教育研修センター

講義 「子どもたちが輝く授業づくり」

1 学習指導（授業づくりのポイント）

（1）学習指導の充実を図るために

ア 学習指導の「あるべき姿」を、自分なりにしっかり捉えること。

イ 教材研究を十分に行うこと。

ウ 児童生徒との人間関係をよりよいものにすること。

エ 児童生徒一人一人をよく知ること。

（2）教材研究の内容

ア 何を指導するのかをしっかりと把握すること ー指導目標の明確化ー

イ いつ指導するのかを押さえること ー指導計画への位置付け（1時間授業）ー

・授業の最初の段階（導入の段階） ー児童生徒の意欲を喚起ー

・授業の中盤の段階（展開の段階） ー活動時間の位置付けー

・授業の最後の段階（終末の段階） ー指導目標の達成度を確認ー

ウ どのように指導するかを考えること ―指導方法の確立―

- ・教材の検討 ―指導目標にあった教材の選定―

- ・教具の検討 ―具体物の提示や機器の操作―

- ・学習形態の検討 ―ねらいや活動内容に応じた形態の工夫―

エ その他

- ・児童生徒の実態把握

- ・個に応じた指導の手立て（机間指導，プリント作成，発問の仕方など）

- ・板書の工夫

2 学習指導案の書き方

※別紙参照

※茨城県教育研修センターWebページでは，多くの教育情報を提供しています。教科教育に関することでは，学習指導案の例等が気軽に閲覧できます。皆さんが学習指導案を作成する際のイメージをつかむための参考にしてください。

3 授業の実際（江頭教諭）

国語科学習指導案の作成例

本時の学習

(1) 目標

※学習指導要領等に基づいて、本時で身に付けたい言語能力を具体的に書く。

※単元の目標との整合を図る。

※本時の評価規準との整合を図る。

例 ～することによって（ことを通して）、～することができる。

(2) 準備・資料

※学習に必要なワークシート、教育機器、資料を記入する。

(3) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点・評価
1 本時の学習課題をつかむ。 (本時のめあてについて話し合う。) ※本時の学習課題やめあてを示す。 (例1) 「～について探ろう」 (例2) 「どんな特徴があるのだろう」 (例3) 「なぜだろう」	留意点 ※授業の導入においては、児童生徒に興味・関心をもたせ、学習意欲を促すことが必要である。そのため、資料や課題提示、発問の工夫をすることによって、今日の授業で「どんなことを学習するのか」という学習の見通しや問題意識をもたせることが大切である。 (例) ・～することを通して、学習への関心を高めて本時の学習に入っていけるようにする。 ・～することを通して、本時の学習課題をつかめるようにする。 ・～学習内容と学習方法を確認することによって学習の見通しがもてるようにする。
2 課題を自力解決する。 (例1) ～の部分を読み取る。 (例2) ～の心の変化とその理由について、自分の考えを書く。 ※学習内容の要点、児童生徒の反応などを具体的に書く。 ※書いたり、まとめたりすることには、予想外の時間がかかるということを踏まえて計画する。	留意点 ※予想されるつまづきへの対応、学習課題を解決した児童生徒への対応をそれぞれどうするかなど、教師のかかわり方や手立てを明記する。(児童生徒の反応をどれだけ予測できるか、具体的にあればあるほど柔軟に対応することが可能である。) (例) ・～でつまづいている児童生徒には、ヒントカードを示して解決できるようにする。(学習の手引きを参考に助言する。別の方法で取り組むように勧める。) ・～の課題が解決した児童生徒には、友達と読み合って、感想を書くように促す。(別の方法でまとめてみるように勧める。) ・発言の少ない児童生徒にはあらかじめ助言をしておき、自信をもって発言できるようにする。 ・Aの課題に取り組んでいる児童生徒には、～ができるよう、まとめ方(追究の仕方)の手引きを用意し、活用できるようにする。 ・○○○について紹介されている本をそろえておき、各自が選択して調べることができるようにする。 留意点 ※「～ようにする。」の文末表現をすることが多い。 (例) ・主人公の気持ちに気付かせる。 → ・～(手立て)することによって(により)、主人公の気持ちに気付くことができるようにする。 ・主人公の気持ちに気付くことができるよう～(手立て)する。

- 3 ～について調べたことを発表し、互いの考えを比べ合う。（～について、話し合う。）

※学習内容の要点、児童生徒の反応などを具体的に書く。

- 4 本時の学習を振り返る。

※学習して分かったことや疑問に思ったこと、次の学習でしたいことなど、課題に対して教師が期待する児童生徒の反応例を具体的に書く。

留意点

※自分の考えを整理した後は、その考えをいろいろな角度から吟味し、深化・発展させることが大切である。そのためには、意見交換の場を設け、他者の意見を参考にすることが大切である。

(例)

- ・発表に対する抵抗感を少なくするために、隣同士やグループで意見交換をする段階を設けるようにする。
- ・誰がどのような考えをもっているのかを把握し指名を工夫することによって、児童生徒の視点を変えたり思考を促したりすることができるようにする。

留意点

※「本時の展開」の中に、言語活動を通して児童生徒がどのような状況なのかを含めて具体的な評価規準を書く。

※評価に当たっては、言語活動を評価するのではなく、指導事項に基づいて指導した内容について評価する。

※評価は、授業の終末ではなく途中で行い、児童生徒が、本時において目標を達成できるようにする。（指導と評価の一体化）

※評価のための尺度の語尾表現は、[関]は「～しようとしている。」，[話・聞] [書] [読]は「～している。」と書く。

※評価の観点や評価方法を書く。

留意点

※授業のまとめでは、学習を振り返る場面が設定される。そこでは、今日は何を学習し何が分かったのかを振り返ることにより、学習内容が確実に理解されていく。また、学習意欲をもたせ、これからの学習につなげていくためにも大切である。

学習指導案の例（本時案）

本時の学習

(1) 目標

※学習指導要領等に基づいて、本時で身に付けたい力を具体的に書く。

※単元の目標との整合性を図る。

※本時の評価規準との整合を図る。

(2) 準備・資料

※学習に必要なワークシート，教育機器，資料を記入する。

(3) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点・評価
1 本時の学習課題をつかむ。	（留意点） ※授業の導入部では，児童生徒に興味・関心をもたせ，学習意欲を促すことが必要である。そのために，資料や課題提示，発問の工夫等によって学習の見通しや問題意識をもたせる。
2 課題を自力解決するための学習活動を書く。 ※学習内容の要点，児童生徒の反応などを具体的に書く。 ※時間に余裕をもって計画を立てる。	※指導過程に沿って，教師の指導上の配慮事項などを書く。 ※予想されるつまずきへの対応，学習課題を解決した児童生徒への対応など，教師のかかわり方や手立てを明記する。 ※自分の考えを整理した後は，その考えをいろいろな角度から吟味し，深化・発展させるため，発表やグループでの意見交換の場などを積極的に取り入れる。 ※本時の目標と対応した，具体的な評価規準を書く。
5 本時の学習を振り返る。	※今日は何を学習して何が分かったのかを振り返り，学習内容が確実に定着するように促すとともに，学習意欲をもたせ，今後の学習につなげる。

学習指導案の例（本時案）（記入用）

本時の学習

(1) 目標

(2) 準備・資料

(3) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点・評価
1	
2	
3	
4	
5	